

明日の丹波市素描

2020年10月 第04号

後援会登録はこちらから

<http://kobashi.ne.jp>



市政に反映された主な提言

■協働：市民が安心して生き生きと活躍できる社会を実現する

- ・新型コロナウイルス感染症対策(2020.4～)
「感染症対策緊急提言(2020年4月)」「ポストコロナ社会への提言(2020年5月)」を行い、家賃補助や飲食店支援など、多くが実現しました。
- ・丹波市市民プラザの開設(2019.10)
市民との協働を支える仕組みづくりを提言(2016年9月)、市民プラザの運営に反映されています。
- ・市民憲章の制定(2019.10)
市民が主役として誇れるよりどころの明文化を提言(2019年10月)、市民憲章につながりました。



■共感：持続可能な経済社会を作り丹波市への共感を広げる

- ・道の駅丹波おばあちゃんの里が重点道の駅に(2020.2)
春日 IC が近畿圏の観光拠点として重要であると指摘(2018年9月)、丹波おばあちゃんの里の強化や拡充計画に活かされました。
- ・丹波市総合計画後期基本計画(2020.3)
国連が提唱する持続可能な開発目標「SDGs」への取り組みを提言(2019年3月)、総合計画の柱として反映されました。

■多様性：多様なはたらき方や生き方、子育てを応援する

- ・医療介護情報連携システムの整備(2019.7)
健康まちづくり戦略の必要性を指摘(2018年6月)、医療と介護をつなぐシステムの整備や健康寿命延伸モデル都市の取り組みに発展しています。
- ・氷上回廊水分れフィールドミュージアム構想(2018～)
氷上回廊を背景とする多様性を市民の誇りとして育む重要性を提言(2016年3月)、ミュージアム構想として実現しました。
- ・デジタル市役所基本構想(2020.9)
国が進めるデジタル化への対応の必要性を指摘(2019年12月)、市が持つ避難所データ等の公開やデジタル市役所計画、教育情報化の推進につながりました。
- ・子育て支援公園整備基本計画(2020.9)
子育て世代目線で公園整備を進める必要性を指摘(2020.03)、基本計画策定につながりました。



『市民が主役』を一步ずつ実現
やさしく元気な未来へ、市政に提言してきました

「市民が主役」をキャッチフレーズに政治家になつてはや四年。この間、当初掲げた「市民と行政の協働を促進」「共感を広げるしくみを構築」「多様性を大切にする社

会の実現」に取り組んできました。一方で、市民の方からの要望を議会に反映させることにも力を尽くしてきました。国に対しては、丹波市に多い家族農家の権利を大

切にするように意見書を提出(二〇一九年六月)、市に対しては、公文書管理基準をコンプライアンス基本方針に書き込む必要性を提言しました(同十一月)。新型コロナウイルス感染症対策では、会派で意見を取りまとめていち早く必要な対策の全体像を市に提言し、その後の施策に活かされています。

◆◇ホームページで分かりやすく◇◆

市政の「いま」をホームページで発信中！

議会での議論を少しでも身近に届けようと、ホームページでの発信を続けています。議会に提出された議案をほぼすべて徹底解説するなど、どこよりも分かりやすい市政の「いま」を届けるよう努めています。後半2年にお届けした約40本からの一例—

- ・種子法をめぐる議論沸騰(2019. 1. 16)
- ・まちなかホテルの処方箋(2019. 2. 21)
- ・2019年度予算案を読む(2019. 3. 14)
- ・丹波市決算、不認定へ(2019. 9. 29)
- ・議案撤回？！(2019. 10. 7)
- ・丹波市総合計画を読み返す(2019. 10. 15)
- ・黒井城は甦るか(2019. 12. 23)
- ・107回3月議会は組織改編など(2020. 3. 6)
- ・コロナ対策補正予算まるわかり(2020. 05. 12)

コロナウイルス感染症に関しては、いち早く丹波市の取り組みの一覧をとりまとめ、多くのアクセスをいただきました。



広い視点で

議会においては、前半二年は議会改革特別委員会の委員として議会改革に取り組みました。また、議会報編集委員会委員長として、議会広報の充実を図りました。その結果、月刊誌『広報』で何度も取り上げられるなど、高い評価をいただきました。また、議会広報のあり方について調査研究した結果は、広聴機能を充実させた「広報広聴委員会」の実現につながりました。

後半二年は、総務文教常任委員会委員長を務めています。表面で紹介した「コンプライアンス推進に関する調査報告」など、できるだけ多くの意見を交わし、より創造的な結論を得る委員会運営を心掛けています。

政治家としては県政や国政との情報交換を欠かさず、広い視野で取り組んできました。

コロナ対策の提言では、谷衆議院議員から届けられた国の対策状況レポートを参考に市政での緊急課題を提言するなど築いたパイプを生かして活動しています。

小橋昭彦後援会

〒669-4265

丹波市春日町中山 1150

0795-75-1837

akihiko@kobashi.ne.jp

http://kobashi.ne.jp

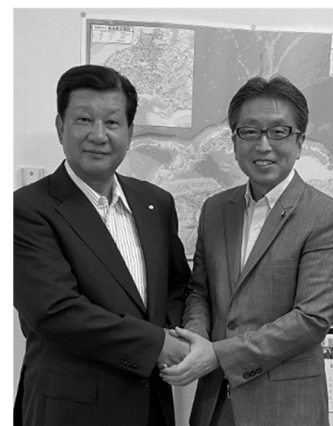
サイトではさらに詳細も。



加田浩之参議院議員と



谷公一衆議院議員と



石川憲幸県議会議員と